

令和7年度 地域福祉推進に係る活動報告書

1 会議等活動状況【福祉総務課】

(1) 地域福祉推進協議会・地域福祉活動計画推進委員会

令和7年度は8月、10月、3月の3回、合同会議を開催しました。
・第1回会議では、年間スケジュール及び計画の評価について、取組評価実施方針や評価に使用するシート案について協議いただき、事務局案にてご了承いただきました。

・第2回会議では、地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査の内容とその実施方法について説明し、ご意見を頂戴しました。

アンケートは「一般市民向け」「福祉事業者向け」「福祉関係団体向け」「民生委員・児童委員向け」の4種類。一般市民向けアンケートでは、性別選択肢に「回答しない」を追加、設問内容の変更や追加が行われました。また、福祉事業者向けアンケートでは、設問の文言変更や選択肢の追加がされました。福祉関係団体・民生委員向けアンケートは、統合されていましたが、委員の皆さまのご意見により分けて作成することになりました。さらにアンケート内容に関する意見交換が行われ、物価高の影響や外国籍の方への配慮、設問の表記や選択肢の修正などが議論されました。回答しやすい表現やレイアウトの工夫、設問の内容の見直しが提案され、事務局に一任することでご了解をいただきました。

・第3回会議（本日）では、アンケート調査結果のご報告、計画の令和7年度活動報告及び次年度スケジュールについてのご報告しご意見を伺います。

(2) 地域福祉推進員【福祉総務課】

地域福祉推進員は、地域福祉計画を推進するために活動を行っています。令和7年度は、令和6年度の取り組みの確認を行うことになっています。

【第1班】

基本目標1 取組1 「福祉サービスの充実と利用促進」
(計画書 P. 52)

【第2班】

基本目標3 取組6 「支え合いの意識づくり」

(計画書 P. 80)

第1班では、悩み事があったときの相談先をまとめたチラシを作成中です。チラシには相談事例を交えながら、「ふくしの窓口」や「民生委員・児童委員」等、悩みがあったときの相談先を記載しています。今後はチラシの具体的設置場所を検討していく予定です。

第2班では、認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、地域の人々が支え合うまちづくりを目指すという方針が決まり、そのための資料を作成しています。認知症の方を地域でどのように支えていくか、投げかけができるような資料を作成していく予定です。

・上尾市地域福祉推進員設置要綱（一部抜粋）

（設置）

第1条 社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条第1項の規定に基づき策定された上尾市地域福祉計画（以下「地域福祉計画」という。）を推進するため、上尾市地域福祉推進員（以下「推進員」という。）を設置する。

（任務）

第2条 推進員は、地域福祉計画の推進に関し、次に掲げる事項に関する活動を行う。

（1）地域福祉計画の周知及び啓発に関すること。

（2）地域福祉計画に基づく地域福祉の仕組みづくりに関すること。

（3）地域福祉計画に関する調査・研究に関すること。

（4）前3号に掲げるもののほか、地域福祉計画の推進に関し必要な事項に関すること。

（3）あんしんネットワーク庁内会議【福祉総務課】

あんしんネットワーク庁内会議は、多様化する地域福祉の課題に対して庁内の関係組織が連携して取り組むとともに、その調整や情報交換を円滑に行うために設置された会議体です。

・あんしんネットワーク庁内会議（関係所属一覧）

市長政策室秘書政策課 行政経営部行政経営課 行政経営部納税課 総務部危機管理防災課
こども未来部こども支援課 こども未来部こども家庭保健課 健康福祉部生活支援課 健康福祉部障害福祉課 健康福祉部高齢介護課 健康福祉部健康増進課 市民生活部市民協働推進課
市民生活部消費生活センター 市民生活部保険年金課 市民生活部交通防犯課 市民生活部人権男女共同参画課 都市整備部都市計画課 上下水道部業務課 消防本部消防総務課 教育委員会事務局学校教育部学務課 教育委員会事務局学校教育部教育センター

令和7年度は、2月27日に庁内会議を開催しました。

生活支援課による、「ふくしの窓口」の実績報告や健康増進課による「こころの相談窓口」での相談内容について事例紹介を行いました。

また、各所属における、複合的な相談についてどのように対応したかなど、横断的な相談について意見交換をしました。

「ふくしの窓口」における相談実績は、令和7年4月から令和8年1月末までで約160件でした。相談内容は、生活困窮81件、高齢者支援25件、「終活」関連20件、障害者支援・サービス18件、医療費の支払い、会計全般に関すること16件、等。

相談に来る年齢層は、匿名60人を除き、80歳代36人、60歳代、70歳代ともに33人という続きとなっており、世帯構成は、不明やその他を除き、高齢単身58人、単身45人、高齢と子41人などとなっています。

健康増進課による「こころの健康づくり」では、「こころの健康講座」の案内や「いのちのオンライン相談窓口」としてweb及びLINEでの相談を紹介し情報共有を図りました。

また、各課における、複合的な相談について情報共有を図りました。

20の所属のうち、11の所属から複合的な相談報告があり、経済的困窮、家庭内問題、福祉支援の複合的課題が顕著に見られる内容でした。

あんしんネットワーク庁内会議では、今後も引き続き、複合化・複雑化した課題解決に向けて、事例等の情報共有、庁内関係組織の連携強化・体制改善を図っていきます。

（４）地域福祉活動計画職員策定委員会【社会福祉協議会】

5月には、各係からの選任者（管理職を除く主査以上）で構成される作業部会を開き、策定した計画の内容を確認するとともに、進捗管理をしていくにあたり、評価シートの作成に取り組みました。各部署で作成した評価シートを、全管理職で構成される策定委員会による精査のうえ、とりまとめました。

策定委員会

事務局長 総務課長 地域福祉課長 在宅福祉課長 かしの木園長 及び作業部会員

作業部会

地域福祉課1名（部会長）

総務係1名 地域連携係1名 権利擁護係1名 訪問介護係1名 支援係1名

かしの木園係1名

（５）地域福祉懇談会【社会福祉協議会】

社協 13 支部では、地域ごとの現状把握や課題抽出及び今後の活動のあり方について話し合う地域福祉懇談会を開催しています。開催単位としては、自治会単位での実施を推奨し、実施の検討をしていただきました。

| | 支部単位 | 自治会単位 | テーマ |
|---------|------------------|---|---|
| 上尾東 | 支部開催 参加者 33 名 | | 地域福祉活動の課題について ～発生事象に対する対応実施等からの問題点や改善してもらいたい制度～ グループ討議にて意見交換 |
| 上尾西 | 支部開催 参加者 42 名 | | 「手話通訳者派遣事業とは？ 地域における聞こえない人の暮らしと聞こえる私たちができることは？」 「聞こえない人との簡単な手話でのコミュニケーション」 |
| 上尾南 | 支部開催 参加者 24 名 | 9 か所 参加者 128 名 | 小地域懇談会 各自治会で昨年度立てた目標の評価、今後の課題を話し合った。また、支部全体にて各地域が取り組んだ懇談会の報告会を実施。 |
| 平方 | 支部開催 参加者 35 名 | 9 か所 参加者 179 名 | 小地域懇談会では、①自治会の加入世帯を増やす取り組みについて②見守り、サロン、集いの活動について③地域で課題となっていることについての意見交換を実施。また、支部全体にて小地域懇談会で出た意見の共有のための全体報告会を実施。 |
| 原市 | | 11 か所 参加者 147 名 | 小地域懇談会 「地域にはどんな心配ごとや困りごとがあるか？」 |
| 大石東 | 支部開催 参加者 31 名 | | 地域における福祉課題や支え合いの会の課題等を話し合い、支部全体で報告。地域の福祉課題の共有化を図った。 |
| 大石西 | 支部開催 参加者 40 名 | | 「認知症の方への接し方について一緒に考えよう」 |
| 上平 | 支部開催 参加者 40 名 | | 「地域包括支援センターについて理解を深める」 |
| 大谷 | 支部開催 参加者 52 名 | 6 か所 参加者 67 名 4 か所 アンケート実施 69 名 | 小地域懇談会 「地域の特色、魅力、取組、地域課題等について」グループワークを実施 |
| 原市団地 | 支部開催 参加者 30 名 | | 「認知症の病気について」 |
| 尾山台団地 | 支部開催 参加者 26 名 | | 「福祉介護用品の体験」 |
| 西上尾第一団地 | 支部開催 参加者 20 名 | | 「今困っていること、この先困ること」 グループワーク |
| 西上尾第二団地 | 支部開催 参加者 26 名 | | ①「介護保険制度について」 ②「事例を通して私たちにできる支援を考えよう」（事例検討） |

(6) 住民向け公開講座【社会福祉協議会】

「人材不足」「社協の認知度の低さ」を克服し、一人でも多くの住民の福祉意識を高めてもらうために住民を対象とした学習会、講座の開催をしていただきました。住民の関心度の高い講座内容としては、美容と健康に関すること、フレイル予防、認知症予防などの報告が多かったです。

- 開催講座数 36か所
- 出席者数 875人

3 その他（活動実績数値等）【社会福祉協議会】

① 第1層生活支援コーディネーターの設置【社会福祉協議会】

⇒市内全域を対象に支援活動を実施している生活支援サービス団体（11団体）との情報交換会を開催し、ネットワークの構築を図り、各団体同士の活動内容や課題等を共有。そのうち10団体に協力をいただき、支援を必要としている方に必要な情報をお届けできるよう一覧表の更新を行いました。

②第2層生活支援コーディネーターの設置【社会福祉協議会】

⇒社協13支部を生活支援体制整備事業の推進支部と位置づけ、支部活動推進の支援に取り組むとともに、自治会単位の福祉活動の把握を行い、地域包括支援センターや居宅事業所のケアマネ等への情報提供を行いました。

③見守り

⇒あったか見守りサービス事業

見守り登録利用者数 152人／13支部（R8.1月末現在）

見守り登録協力員数 138人／13支部（R8.1月末現在）

訪問・電話による見守り回数 2,786回（R8.1月末現在）

外からの見守り回数 106回（R8.1月末現在）

※利用者の希望を確認しながら、多様な見守りで実施

④集いの場（サロン活動） つどいの場マップの更新

⇒社会福祉協議会補助対象 58事業（R8.2月末現在）

※月1回程度会場での開催した団体実数

⇒上尾市補助対象 82事業（R8.2月末現在）

※アッピー元気体操を含む一般介護予防事業として実施実数

⑤助け合い

⇒地域の支え合い、助け合い活動の把握 23団体（R8.2月末現在）

【参考】上尾市社会福祉協議会ホームページ掲載

◎生活支援サービス事業団体（家事支援）

◎移動支援事業団体

◎ささえあい、たすけあい活動